

21世紀究極のクルマ改造本!

G-works

ジーワークス

特別付録
特製・G-ワークス
ステッカー付き!!



トヨタ旧車乗り方!

2015
6

特別価格:630円



ソアラ MZ12



首都高
最速バトル!!

オートサンダル



乗った!!

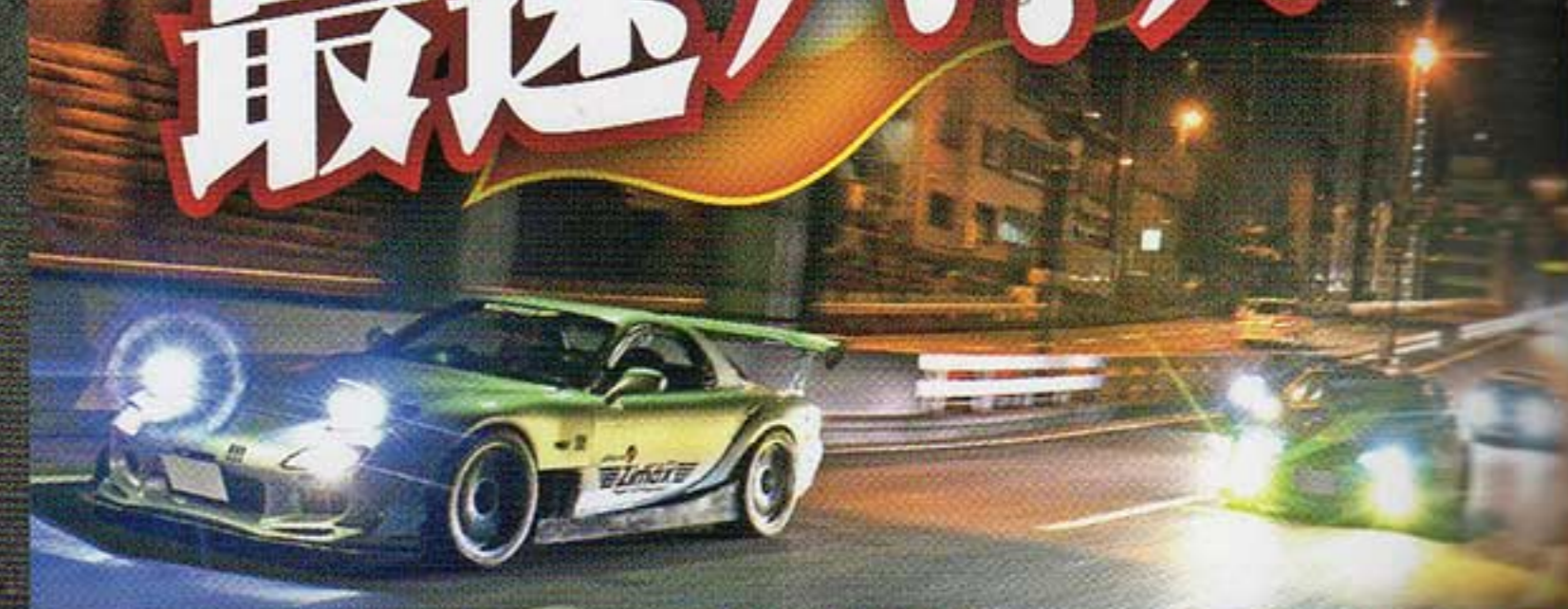
日本の中の
米国



基地内の日本車たち



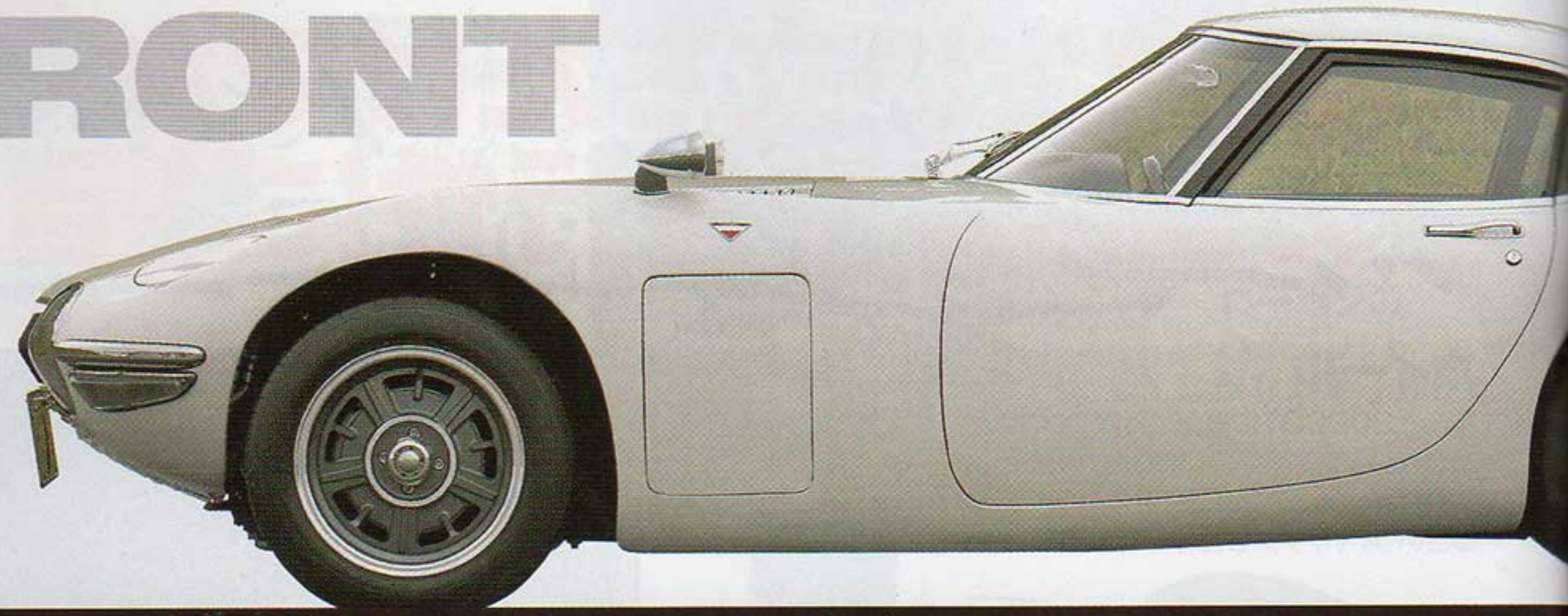
解体屋
の現在



限界領域を攻める!



FRONT



2015東京オートサロンで発表したあのクルマが取材日前日

正規ナンバーが付いた ロッキーオート2000GT

RHV トヨタ2000GT EVスーパーレプリカ
ロッキーオート ハイブリッド

TOYOTA 2000GT



REAR



8月31日に登録完了!! 緊急試乗!!



愛知県・岡崎
ロッキーオート

Photo: TakehikoMaekawa
Text: HiroyukiIshikawa

カッコ良く、速ければならぬチューニングカー。その姿はカッコ良さはすぐに分かるけど、速さはエンジンの作りやパーツ選択、スペックなどで想像するしかない...それでは納得できない貴方へ、じゃ、乗って見るか!!というノリで始まったこのコーナー、今回は今話題のこのクルマだ!!

このバイタリティには脱帽!!
社長、ホントに凄いッスよ!
日本の名車トップに君臨すると言っても過言ではないトヨタ2000GT。1967年に発売されその性能は当時トップクラス。魅力はその性能だけでなくインテリアやスタイルはもう誰もがカッコ良いと唸らせるほどのスタイル。魅力は数多いけどスペースが無くなってしまうので歴史や生い立ちなどは置いておき、このクルマのインプ等に専念していこうと思います!!

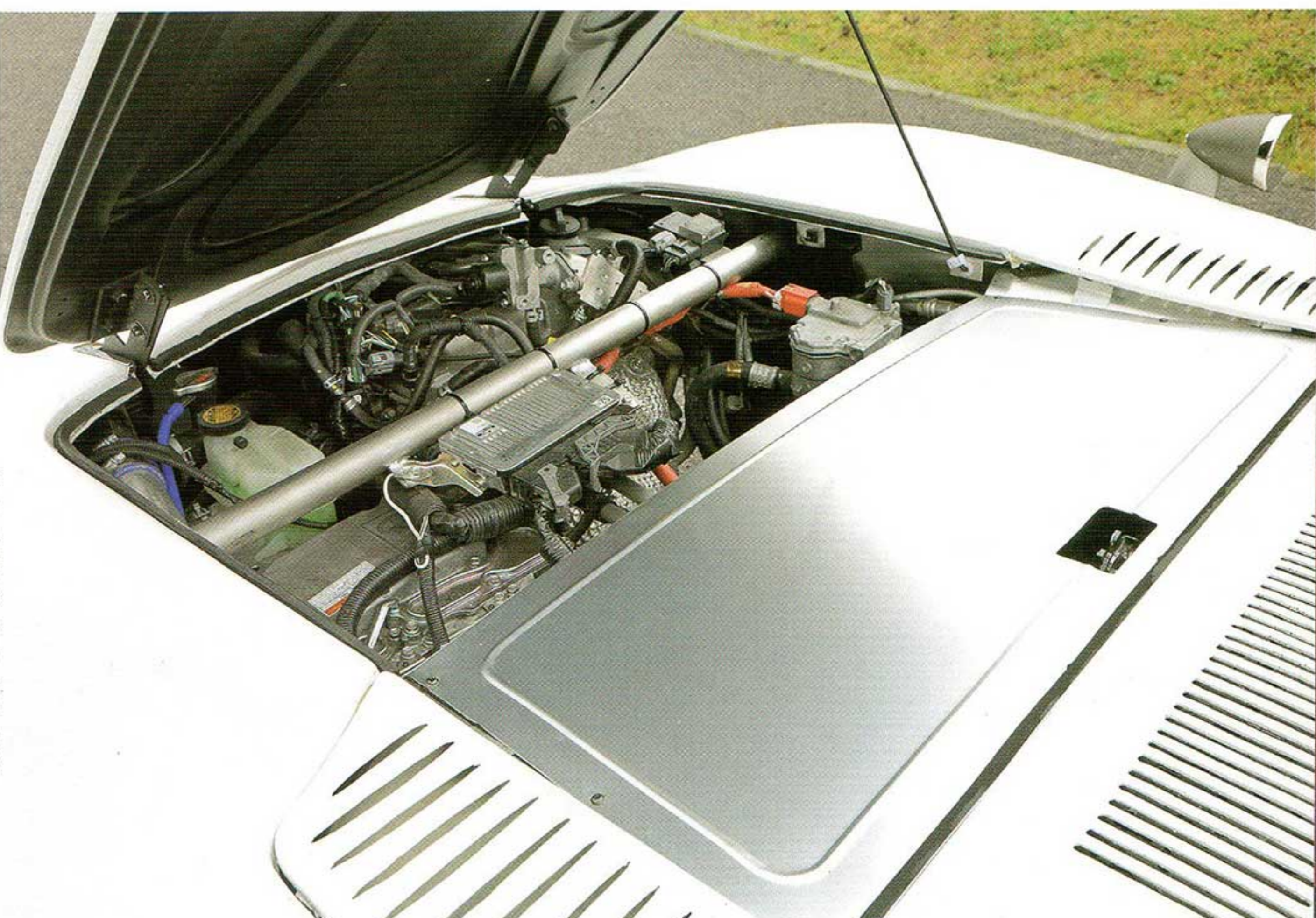
車体等の説明は他の項目を参考してもらおうとして、このトヨタ2000GTレプリカの心臓部はなんとハイブリッドで、世界最低燃費で知られるトヨタアクアのモノを利用して、なでなで駆動となるハイブリッド車のエンジンコンバート等はかなり作業が難しく、そこに挑戦したこともこのクルマの凄さの一端。



製作したロッキーオートはハコスカやS30にRB26やVQそしてセルシオエンジンやアメリカンV8を製作し、街中でも乗れるように快適装備を満載しつつ公認もキチン取るといふスタイルはもう、誰もがこの名前を知らない人がいないほどだけで、2015年3月号でも紹介したR32タイプMやBNR32をベースとしたケンメリはもう業界騒然というかその凄さに圧倒。それだけでも凄いのには今度トヨタ2000GTを1から製作したというのだから驚きは隠せない。

ベースとなるフレームをこのクルマ専用製作し、その外板をファイバーパーツ等で作り上げ、細かいモール等も型を作り製作という量産を考えた製作だから2度の驚き。一台ではなく年間今年8月、来年は12台作るという計画も立てられているというので数台受注されているという。(型代や製作費、そして登録検査や公認審査などの総額はウン億円!!)

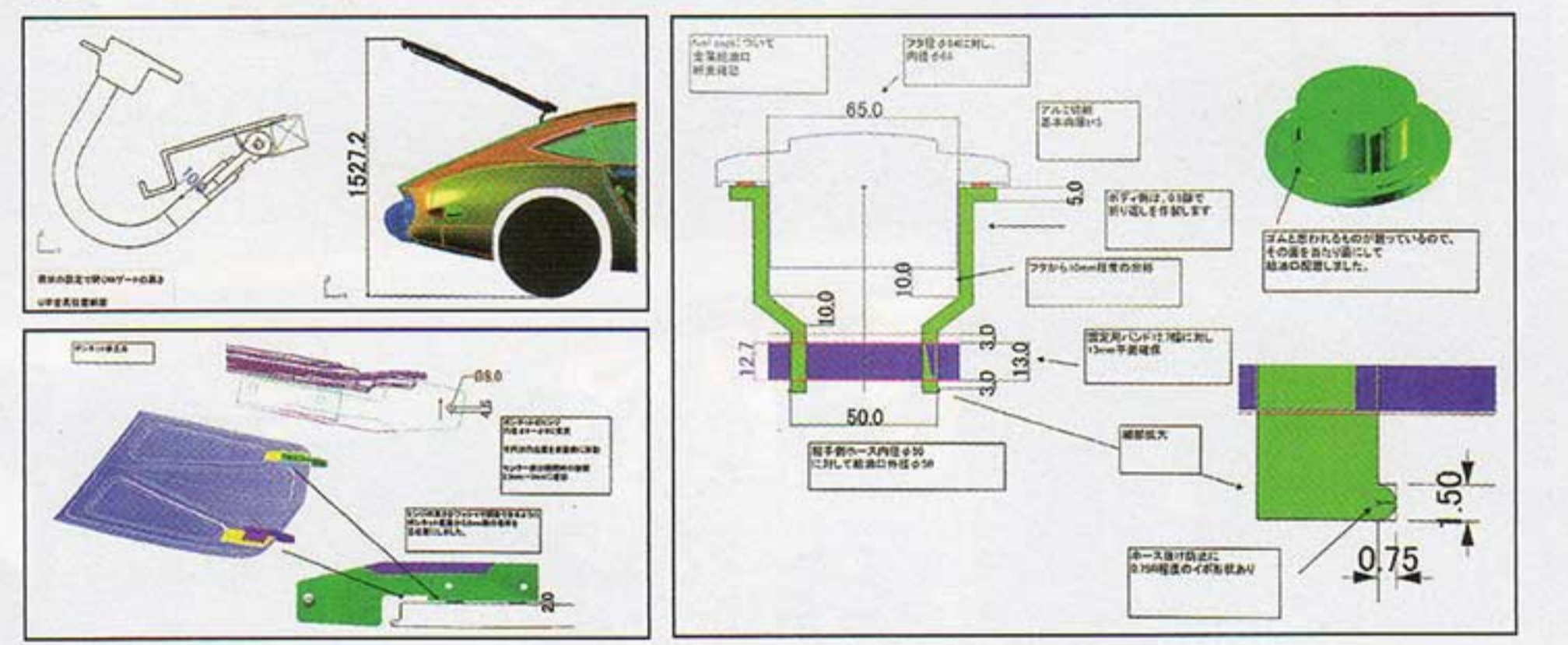
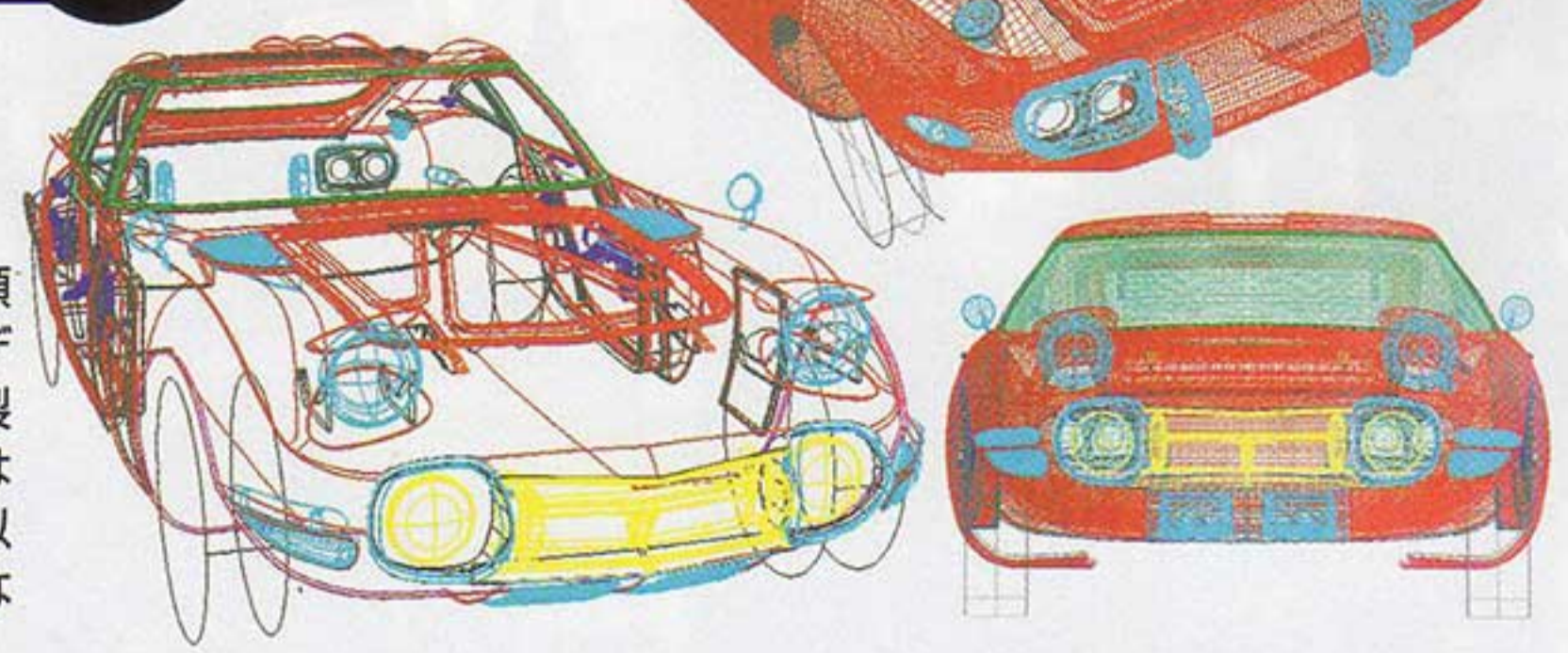
では、その外観や走りを詳しく追ってみよう!!



ミッションや駆動系の関係で前軸よりも前にシリンダーブロック等が搭載され、その後のパーリング加工されたアルミの下には走行用のバッテリーが搭載されているのもこのクルマの特徴。今年8月にはトヨタ2J-Zエンジンを搭載した2000GTレプリカを発表する予定だからこの位置にエンジンが来るんだろうね

**CAD
データ**

細かいパーツ類もこのようにデータ化して製作。公認書類は実に600枚以上という膨大なモノ



石川編集長

生誕50年を記念した今年に発表 発売!!

前日にみんなが見慣れている白いナンバープレート(臨時ナンバー等じゃないよ!)が正規に取り付けられ、お国からもお墨付きを頂いたこのトヨタ2000GTレプリカ。エンジンがアクアのハイブリッドと云うことで、車名もロッキーオートの頭文字を合わせて「RHV」と名付けられいよいよ試乗だ。

残念ながらトヨタ2000GT本物の助手席にしか乗ったことのない石川だけど、外観はモノ、トヨ!!! あ〜やっぱりカッコいい!! 渡辺社長によると車体は多少大きく設計して走行安定性等を狙ってトレッドも掘げているから、厳密に言うとならフルオリジナルのトヨとは異なる雰囲気だけど、現在の加工技術で生産されたパーツ類は品良く見えるから不思議。

ドアを開け(ノブも本物)中に入るとすると無駄にでかい石川の身体が徒となり、頭がルーフに付きそう。補強でルーフにもX形状で入れているから3.5cmほどルーフ天面から低いらしく、175cmくらいの普通体型の人なら何ら問題は無いと思う。なので自分はフォアミッドにシートバックを寝かせて運転姿勢を取るけどコレがまた雰囲気があるってよろしい! 普通じゃない感覚がまた良いね!

インテリジェントキーだからブレーキを踏んでスタートボタンを押すと、メーターが点灯し、エンジンは充電されていたら掛からないのはアクアそのまんま。走り出すと正しくアクア!! ハンドリングは固められた足と軽い車体、そして剛性の高いボディでしっかり感が強く、ステアリングを切ると行きたい方向に行ってくれる感覚。だけど、基本はアクアだと思ってくれて間違いない。車体がかなり軽くなったので踏み始めブレーキが効きすぎの傾向だったが、コレはあとで調整すれば問題ないね。頭が天井に付くのもシートレール改良すればクリアするだろうから、この試作一号からほとんど良くなってるのは間違いない!!

**外観や生い立ちだけでなく
メカニズムや走行性に注目!!**



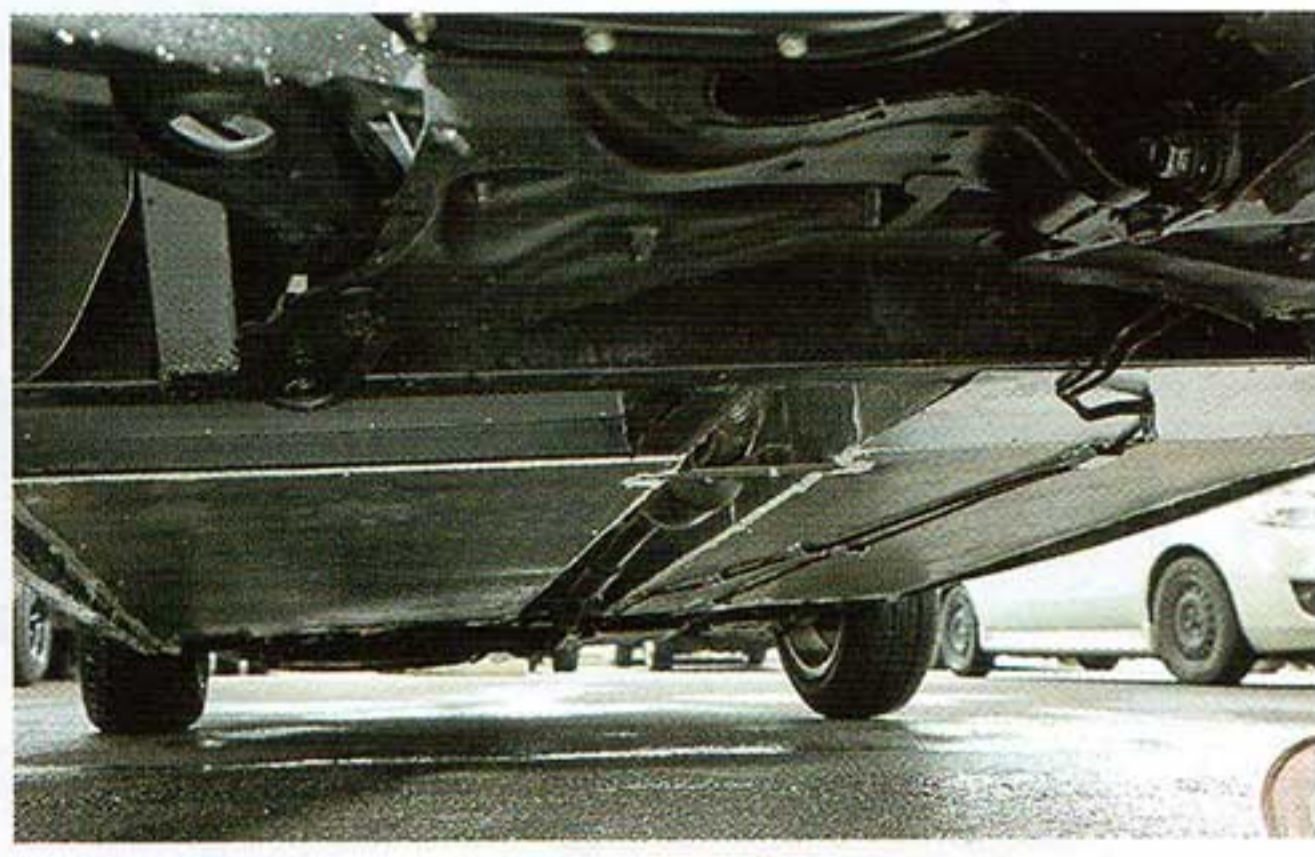
ホイール

なんと2000GTに真似て4穴(本物はセンターロック)ホイールまで製作したというのだから驚き!! 2J-Z搭載車は5穴になるという。キャップも製作している



サイドスペース

トヨタ2000GT同様、サイドのパネルが開き左側のそこにはエアクリナー、右側にバッテリーと実車同様な構成



下まわり

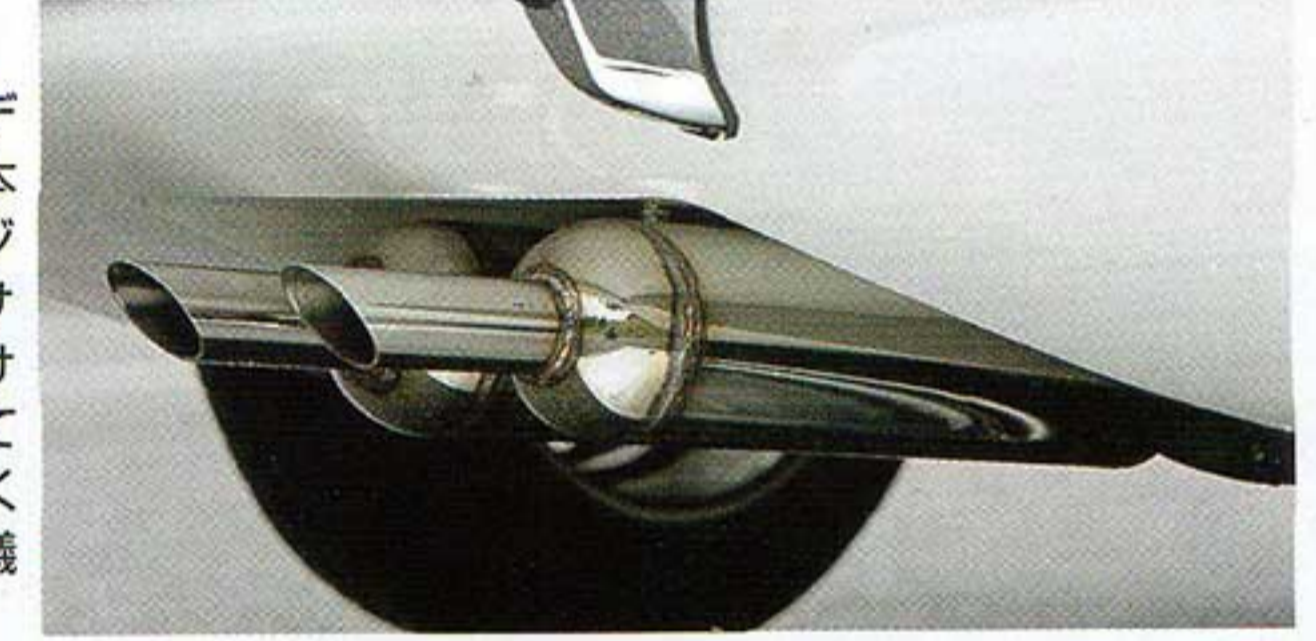
骨格のフレームを製作しそこから鋼板等でボディを製作しているのがフロントホイールハウスの位置が分かる。下回りはエアロダイナミクスを追求しフラットに製作しているのも特徴

足まわり

フロントタイヤ横から覗くとエンジンの位置が分かる。アーム類は全て新規で製作。ダンパーは車高調整が組まれているのが分かる

マフラー

トヨタ2000GT同デザインのセンター2本出しマフラー。エンジンが掛れば排気サウンドが聞こえるけど、モーターで動いているときは無音で動くRHV。なんか不思議な感覚



ルーフ

形状はもちろんトヨタ2000GT独特のモノで出来るだけ車高を下げつつ、キャビンの広さ、乗員のヘッドルームの確保で左右が盛り上がるデザイン。本文中にも書いたけど、RHVはここにX型の補強が入っている。写真に見えるモール類も型から起こし1から製作したモノだ



製作モノ



本物

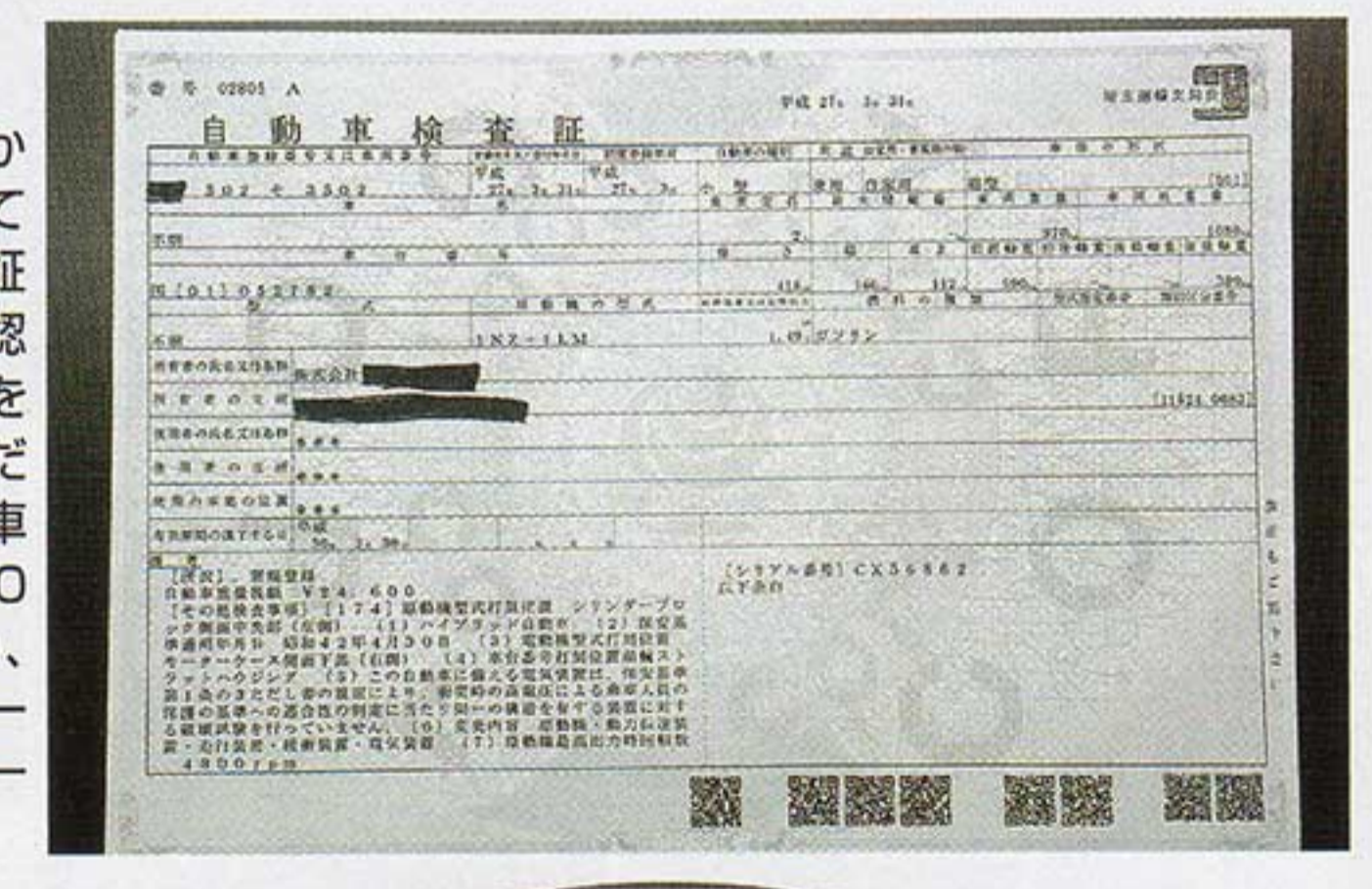


エンブレム類

七宝焼きの伝統的なエンブレム散えて左側に本物を貼り、右側に新規製作モノを貼り付けている。見比べると新品の輝きから製作モノの方が本物っぽく見えるから不思議。このようにエンブレム1つとっても本物に沿って忠実に製作されているからこういった全体のスタイルが実現していると言える

正規車検証

オリジナルフレームだから車名が「不明」になっているこのクルマの車検証だけど、これを見れば公認屋さんもきちんと認可を取ったモノだと分かるだろう。左上のデータ(車体)は本物のトヨタ2000GT数台をデータに取り、その平均値を出してデータにしたもの。これをベースに製作していった



取材協力 愛知・岡崎ロッキーオート
愛知県岡崎市小美町字殿街道153 Tel 0564-66-5488



RHV トヨタ2000GT EVスーパーレプリカ
ロッキーオート ハイブリッド

2J-Z搭載も楽しみに
しててください



渡辺社長

RHVのハンドルを握るロッキーオート 渡辺社長。渡辺社長は自身で実際に出来上がったテストも行うから、納得しないと商品としてお客様に乗せられないという事からもその真剣さが伝わってくる

製作モノ

外側がメッキ、内側は無反射構造のミラーやボンネットヒンジなどトヨタ2000GT独特の装備も新たに製作している

内装

内装類もこのクルマに合わせて作られており、キャッチまわりやキッキングプレート等はアルミ素材から作られているのが分かる。窓ガラスはパワーウィンドウで開きます



トランク 室内

トランクルームはフラットだから荷物も意外と積みそう。コックピットはトヨタ2000GT風に製作しつつ、メーター類やエアコンコントロール系などはアクアそのものを使う。シフトレバーやサイドブレーキレバーもアクア。エアバックも付いている